

世界債券プラス型(CS)特別勘定 運用状況(2010年8月末現在)

運用方針

- 主に内外の高格付け債券ならびに高利回り債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、積極的に高い投資成果を目指します。
- 高格付け債券に50%程度、高利回り債券に50%程度投資することを基本とします。ただし、市況動向等を勘案して、当該配分を変更することがあります。
- 原則として為替ヘッジは行いません。
- 運用にあたっては、運用スタイルの分散や運用会社の固有リスクの分散を図るため、基本的に当社が選定した複数の投資信託を組み合わせ合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、各特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	816,225	98.7%
現預金・その他	10,713	1.3%
合計	826,938	100.0%

運用状況

2010年8月の世界債券市場は、Citigroup WGBI(現地通貨ベース)で2.49%の上昇となりました。米国債券市場ではFOMC(米連邦公開市場委員会)で景気に対して慎重な見方が示されたことや中古住宅販売件数等の経済指標の悪化を受け長期金利は低下基調で推移(価格は上昇)しました。欧州市場でもドイツ10年国債の利回りは世界経済の不透明感を受け、米国市場と連動した動きとなりました。このような市場環境の中、当特別勘定は円高の進行もあり、1.70%下落しました。

現在、高格付け債券部分については、「グローバル・ボンド・ファンドVA」、高利回り債券部分については、「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド」に投資しています。

8月は資金移動に合わせて、「グローバル・ボンド・ファンドVA」および「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド」の購入を行いました。

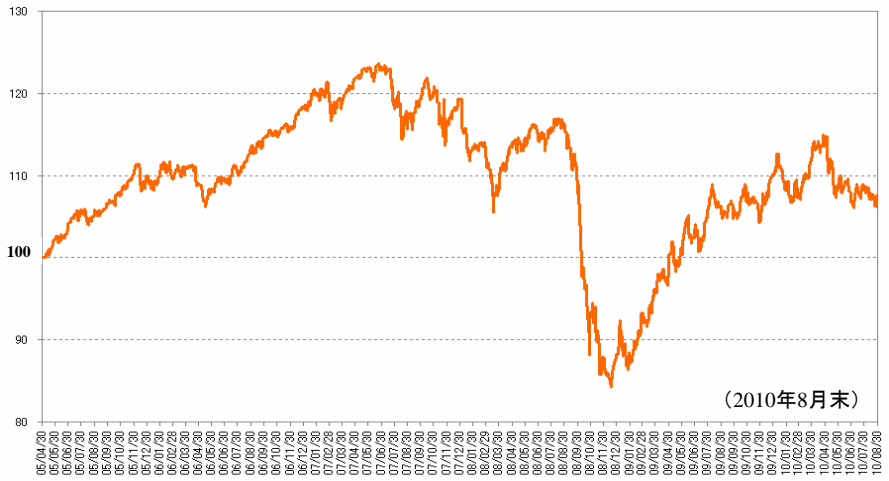
9月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定率
106.43480805	▲1.70%	▲2.29%	▲0.78%	+1.09%	▲9.40%	+6.43%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(100)として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2005年5月1日)



ポートフォリオの状況

[基本配分]

高格付け債券 50%程度
高利回り債券 50%程度

[組入れ投資信託(投資比率)]

グローバル・ボンド・ファンドVA (49.7%) : p15上段
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (49.0%) : p16上段
現預金・その他 (1.3%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。